

世界遺産学ぶ出前講座

河根中生徒ら 京大坂道歩く



民間団体のメンバーから説明を聞きながら京大坂道を歩く、町立河根中の生徒ら（九度山町河根で）

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について学習する出前講座が10日、九度山町河根の町立河根中で生徒9人を対象に実施された。県伊都振興局や青少年育成団体などによって行われる「伊都地方育成事業実行委員会」が始めた出前講座の初回。まず、県職員が高野山を囲った弘法大師空海の生涯や、九度山町の慈尊院など橋本市・伊都郡内の文化財を説明した。その後、生徒たちは橋本市から高野山（高

野町）に向かう京大坂道に移動。古道の研究をしている民間団体のメンバーから、この地域は1897年ごろまで、旅館など高野山の参詣者に関係する産業でにぎやかだったなどの説明を聞きながら、約50分かけて歩いた。京大坂道の高野町内の一部区間は、「京大坂道不動坂」として世界遺産の構成資産に含まれている。

生徒の一人は「地域の歴史を知ることができて良かった」と話し、藤原弘

高野山歴史 中学生学ぶ

九度山で「出前講座」



「京大坂道」を歩く生徒たち（九度山町で）

県伊都振興局や市民団体などで行く。伊都地方子ども育成事業実行委」が10日、九度山町立河根中学校の生徒を対象に、高野山（高野町）の歴史を紹介する第1回「出前講座」を開き、中学生9人が参加した。

実行委が、地域の魅力を知ってもらおうと、伊都地域の子どもを対象に今年度から始めた取り組み。河根中が応募した。教室で行われた40分間の講座では、1と3年生9人が、遺傳使として空海が中

田（唐）に渡ったことや、慈尊院（九度山町）や舟生都比売神社（かつらぎ町）と高野山との関わりについて学習。その後、高野山に通じる七つの登山道の調査や環境保全活動を進める「高野七口再生保存会」会員の引率で、河根中の近くを通る登山道の一つ「京大坂道」を歩いた。

参加した3年正木太海君（14）は「自分の暮らす地域がこんなにも深く高野山とつながりがあるとは知らなかった。勉強になりました」と話していた。

6/11 朝日

田辺市、あっせん申し立てへ

南漁協補助金不正 返還請求に応じず

田辺市は10日、水産振興などの補助金を不正受給した和歌山南漁協（同市）が、約5千万円の返還請求に応じないとして、和歌山弁護士会紛争解決センターにあっせんで申し立てると発表した。市は16日に開会する定例会市議会で議決を求める議案を提案する。

市は、1999、2001、7年度までの漁協の事業に関する最終報告を受けて、漁協に対し4997万4424円を支払うよう今年1月30日付で請求した。しかし、漁協から返済計画が示されず、3月末と5月末の督促にも応じなかったという。市によると、元金以外の遅延損害金は5月末時

点で約1260万円に達しているという。

取材に対し、漁協もセンターへあっせんで申し立てる方針としている。議決されれば弁護士会の仲裁のもと、双方が和解への話し合いを始める。（大野悠

◆県議会副議長に浜口氏、議長は岸本氏が2年目、県議会は10日、副議長に浜口太史氏（68）自民党県議団Ⅱを選んだ。浜口氏は新當市選出で3期目、議長と副議長は、1年間で終える

のが慣例だが、昨年5月に就任した岸本健氏（48）Ⅱ同Ⅱは議会運営の安定性などを理由に2年目も務めるという。6/11 朝日